

神話と秘境の宮崎 5日間 6月2日(水)~6日(日)

～和製ロミオとジュリエット&記紀神話の舞台へようこそ～

はるか遠い昔、高天原から国生みを託された日本最初の夫婦イザナギとイザナミからすべての日本神話が始まります。その後、みそぎ池で生まれた天照大神の孫・ニニギノミコトが高千穂に降り立ち、コノハナサクヤヒメを妻とし、その息子の一人・山幸彦と豊玉姫(父は海の神・大綿津見神)が結ばれ、二人の息子と豊玉姫の妹・玉依姫との間に生まれたのが初代天皇・神武天皇。そして神武天皇は東征のため日向・美々津から船出し、奈良・大和へ向かいます。このように、宮崎県のあちこちに神話の言い伝えが残るスポットがあり、神々のパワーを感じることが出来ます。

一方、時代が進み、源平合戦で敗戦を期した平家の落ち武者は、宮崎・高千穂からさらに奥深い山奥の椎葉村へ逃げてきます。ここで源氏側的那須大八郎と平家の末裔・鶴富姫が出会い、二人の悲恋物語は日本版「ロミオとジュリエット」として長く言い伝えられています。ときには進化し続ける21世紀を忘れ、悠久の時空に身をゆだねてみませんか？



◎ スケジュール

椎葉のマチュピチュ・仙人の棚田

日付	行程	宿泊・食事
1日目 6月2日(水)	宮崎市→→記紀の道・西都原古墳→椎葉村 10:00 宮崎駅集合、専用バスにて出発 【宮崎市】 ①宮崎神宮 ②江田神社・みそぎ池	朝：－ 昼：各自 夜：○ 椎葉村泊
みそぎ池	宮崎神宮は、初代天皇である神武天皇を祀る神社。灯籠が灯る参道は神秘的な雰囲気漂い、歩くだけで心身が浄化されたような気分になります。現在の社殿は明治40年に建立されたもので、国内でも珍しい、日向の名材・狭野杉が用いられています。 江田神社は、日本最初の夫婦といわれる伊那那岐命(いざなぎのみこと)と伊那那美命(いざなみのみこと)が祀られる宮崎屈指のパワースポット。同じ敷地内には、伊那那岐命が黄泉の国で穢れた体を清めるために身を沈めた「みそぎ池」があり、この池で天照大神(あまてらすおおみかみ)、月読尊(つぐよみのみこと)、素盞鳴尊(すさのおのみこと)の3神を生み出したと伝わります。	天玉か
西都原古墳群	11:30頃 ランチ(各自)：宮崎県民のローカルフード『きっちょう(うどん)』へオススメの「天玉か」はいかが？ 【記紀の道】を順番に巡ります ① 都萬神社 ② 御船塚 ③ 逢初川 ④ 八尋殿 ⑤ 無戸室 ⑥ 児湯の池 ⑦ 石貫神社 ⑧ 大山祇塚 ⑨ 鬼の窟古墳 ⑩ 男狭穂塚・女狭穂塚 (⑨⑩は西都原古墳群史跡公園内)	
	神話と伝説のふるさとといわれる宮崎は、古代「日向の国」とよばれ、古事記や日本書紀に記される日向神話をはじめ、数多くの伝説や史跡があふれています。西都はその中心地であり、多くの神話や伝説が伝わります。神話の中心となるのは、天照大神の孫ニニギノミコトとコノハナサクヤヒメにまつわる話。ニニギノミコトは天孫降臨の地から広く豊かな土地を求めて西都原に進出。そこで山の神・オオヤマツミノカミの娘・コノハナサクヤヒメと出会い結婚。この出会いから出産にまつわる伝承が西都原一帯に色濃く残されており、「記紀の道」として神話探索コースになっています。	
	15:30 一路、宮崎の秘境・椎葉村へ(約2.5時間) 18:00頃 到着後、チェックイン、宿にて夕食 那須大八郎の妻となった鶴富姫の住まい「那須家住宅」で！	
2日目 6月3日(木)	椎葉村 → (ひむか神話街道)→美郷町 → 日向 宿で朝食後、椎葉村観光	朝：○ 昼：各自 夜：各自 日向泊
鶴富屋敷	平家の落ち武者伝説が残る椎葉村。およそ800年前、壇ノ浦の合戦に敗れた平家の武士たちは追っ手を逃れて各地のふところの深い山奥へ。しかし、この隠れ里も源氏の総大将頼朝に知れ、那須と一宗高が追討に向かうよう命令されるが、病気のため、代わって弟の那須大八郎が追討の命を受け椎葉に向かった大八郎、険しい道を越え、やっとのことで隠れ住んでいた落人を発見。 だが、かつての栄華もよそに、ひっそりと農耕をやりながら暮らす平家一門の姿を見て、哀れに思い追討を断念。幕府には討伐を果たした旨を報告した。 普通ならここで鎌倉に戻るところだろうが、大八郎は屋敷を構え、この地にとどまり、そればかりか、平家の守り神である敵島神社を建てたり、農耕の法を教えるなど彼らを助け、協力し合いながら暮らしたという。 やがて、平清盛の末裔である鶴富姫との出会いが待っていました… 和製ロミオとジュリエット、源平悲恋の舞台「椎葉村」へ！	白水の滝
	【椎葉村の見どころ】※赤字は椎葉村の観光案内ガイドと訪問予定 ① 鶴富屋敷 ② 椎葉敵島神社 ③ 八村杉 ④ 大久保のヒノキ ⑤ 十根川伝建地区 ⑥ 松尾の大イチョウ ⑦ 上椎葉ダム ⑧ 白水の滝 ⑨ 大いちょう展望台 ⑩ 十根川神社 ⑪ 柳田國男ゆかりの地 などなど	
	平家本陣でランチ(各自)・展望台見学、諸塚村・美郷町(ひむか神話街道)経由、日向へ 18:00頃 日向市内のホテル到着、チェックイン後、フリータイム	

<p>3日目 6月4日(金)</p>  <p>昇り龍</p>	<p>日向 → 美々津 → 都農 → 宮崎市 9:00 ホテルで朝食後・貸切バスで観光ご案内</p> <p>【日向】 ①クルスの海 ②馬ケ背 ③大御神社・鵜戸神社</p> <p>壮大なスケールの絶景に出会える日向には、実は見どころも多くあります。中でも天照大神を祀る大御神社には二ニギノミコトが大海原を眺め祈願するために立ったと伝わる「神座」や、隣接する鵜戸神社では縄文時代に龍神信仰が行われていたとされる昇り龍など、神秘的な光景に出会えます。</p> <p>【美々津】 ①立磐神社 ②重要伝統的建造物群保存地区</p> <p>美々津は江戸時代から明治・大正にかけて、京阪神との交易拠点として栄え、廻船問屋や商家が軒を連ねた港町。その伝統的な街並みは国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。また約2700年前に神武天皇が日本統治のため奈良(大和の国)へ船出をしたといわれているのもこの地。その船出を祀る神社(立磐神社)は海の近くにひっそりとたたずんでいます。</p> <p>【都農】 ①都農神社 ②都農ワイナリー (ランチ、テイスティングは各自で)</p> <p>神武天皇が東遷に向かう際に、国土平安、海上平穩、武運長々を祈念し御祭神を鎮祭された宮と伝えられる都農神社。 都農ワイナリーは、「ワインは地酒であるべきだ」という信念のもと地元産ぶどうを100%使い、地元の風土を表現するワインを造り続け、そのワインは世界的にも高い評価を受けています。小高い丘の上に立つワイナリーでは、醸造過程が見学できるほか、試飲や物産コーナーもあります。</p> <p>17:00頃 宮崎市内のホテル到着、チェックイン後、フリータイム</p>	<p>朝：○ 昼：各自 夜：各自 宮崎市泊</p> <div data-bbox="1324 380 1532 526" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>宮崎名物 チキン南蛮 はいかが？</p> </div> 
<p>4日目 6月5日(土)</p>  <p>鵜戸神社</p>	<p>宮崎市 → 青島 → 鵜戸神宮 → 飫肥城跡 → 都城 9:30 ホテルで朝食後・貸切バスで観光ご案内</p> <p>【青島・鬼の洗濯岩】</p> <p>周囲1.5kmほどの小さな青島は、島そのものがパワースポット。豊かな自然に恵まれ、ピロウシュをはじめとする亜熱帯性植物も多く茂り南国の雰囲気漂います。島の中央に位置する青島神社は有名な神話「海幸彦・山幸彦」の舞台であり、山幸彦と豊玉姫が結ばれた地でもあることから縁結びにご利益があると人気。島を取り囲む有名な奇岩「鬼の洗濯板」も見どころです</p> <p>【鵜戸神宮】</p> <p>太平洋に突き出した鵜戸岬の先端にある洞窟の中にある、朱塗りの色鮮やかな御本殿がご鎮座する珍しいものです。岬のまわりには奇岩、怪礫が連なり太平洋の荒波が打ち寄せて、美しい景勝地となっています。また、男性は左手、女性は右手で願いを込めながら連玉を投げ、亀石と呼ばれる岩の枡形に入れば願いが叶うといわれています。</p> <p>【飫肥城跡】</p> <p>南九州の小京都と言われる飫肥城下町。280年にわたり伊東氏の居城でした。壮大な石垣と石段を残し復元された城址は見所もたくさんあります。新しいパワースポットの『しあわせ杉』や飫肥藩に伝わる四半的(しはんまど)が体験できます。</p> <p>18:00頃 都城市内のホテル到着、チェックイン後、フリータイム</p>	<p>朝：○ 昼：各自 夜：各自 都城泊</p>  <p>日南の海岸沿い</p>
<p>5日目 6月6日(日)</p>  <p>早水神社</p>	<p>都城 → 東霧島神社 → 綾 → 宮崎市・解散 9:30 ホテルで朝食後・貸切バスで観光ご案内</p> <p>【都城】 ①早水神社 ②高城郷土資料館</p> <p>仁徳天皇の後の髪長媛の誕生地説の早水神社。髪長媛は応神天皇に召されましたが、皇太子の仁徳天皇が彼女の美貌に惹かれて、皇太子妃に譲り受けたといわれています。境内には髪長媛が使った泉があり、顔を洗うと美人になるという言い伝えがあります。 多くの戦いの舞台になった「月山日和城」跡に立つ高城郷土資料館。月山日和城は南北朝時代の武將肝付兼重により築城、外観は犬山城を模した3層の天主構造で、展望室からは都城盆地はもとより、霧島連山や桜島まで望むことができます。</p> <p>【東霧島神社】</p> <p>東霧島神社(つまきりしまじんじゃ)は、霧島六所権現の一つで、主祭神は建国の祖・イザナギノミコト(日本国土を産み給うた父)、国造りの神・国家の御守護はもちろん、広く農・工・商すべての開運・福寿・治病・航海・縁結び・安産など世の中の幸福を増進することを計られた人間生活の守護神。近年ロマンとパワースポットとして広く知られ、昨年人気だった「鬼滅の刃」第1巻に出てくる石がこの神社にあるそうです。長く続く階段の入り口には鬼が鎮座しており、岩を無造作に積み上げたような階段は『鬼磐階段』で「振り向かずの坂」ともいわれ、願い事を心を込めて唱えながら、後ろを振り向かずこの階段を登りきると願いが叶うといわれています。</p> <p>【綾】 ①照葉大吊橋 ②酒泉の杜(ランチ、テイスティング ※自由散策)</p> <p>綾町は、「有機農業の町」「照葉樹林都市」などをスローガンとする町おこしの成功例として知られ、自然の中で人間らしい生活を求める全国各地からの移住者が増加しています。2012年7月に国内では32年ぶり5ヶ所目となるユネスコエコパークに登録。照葉大吊橋は、照葉樹林の森に架けられた吊橋で、高さ142.0mは歩行者専用の吊り橋としては日本で2番目の高さです。 また、「酒泉の杜」は、雲海酒造の焼酎蔵、清酒蔵、ワイナリー、ビール醸造所で全国でも珍しい「お酒のテーマパーク」で、綾町の伝統工芸、特産品売店も併設します。「雲海葡萄酒醸造所」宮崎県にある3つのワイナリーのひとつ(他は五ヶ瀬、都農)は南九州で初めての本格的な観光ワイン工場。綾町産のぶどう・ブラックオリンピアをはじめ、キャンベルアーリー、テラウェアなど宮崎県産を中心に国内産ぶどうを100%使用し、香り豊かなワイン(雲海ワイン)を生み出しています。</p> <p>17:00~18:00頃 宮崎駅を経由し(JR利用の方はここで解散)、宮崎空港で解散</p>	<p>朝：○ 昼：各自 夜：—</p>  <p>照葉大吊橋</p> 

◎ 料金	全行程(5日間) 1名様1室	前半3日間(6/2~6/4) 1名様1室・6/2, 6/3宿泊	後半2日間(6/5~6/6) 1名様1室・6/5宿泊
基本料金	お一人様：168,000円 ※ 限定5名様	お一人様：98,800円 ※ 限定5名様	お一人様：76,000円 ※ 限定10名様
前後泊 ホテル手配	実費+手配手数料1,500円(+消費税)		
航空券手配	実費+手配手数料5,000円(+消費税) 【参考】羽田空港 → 宮崎空港 片道正規運賃4万円前後~(JAL・ANA他) 他に早割、特割などお得な運賃(11,000円前後~)あり。(変更・キャンセル可否に注意)		
銀行振込割引	旅行代金を銀行振込でお支払いのお客様は、上記代金から 2,000円割引 いたします。		
追加手配	集合以前・解散以降の個人的なご旅行について、何なりとご相談ください!		

◎ ご注意・ご案内

料金に含まれるもの	料金に含まれないもの
<ul style="list-style-type: none"> ホテル・宿(朝食・税・サービス・入湯税込み) 旅程に記載のあるお食事(税込み・お飲み物は別途) 貸切バス ● 椎葉村の観光案内ガイド ガイドングレシーバー ワイナリー見学料・旅程記載の入場料 移動エスコート(弊社スタッフ) 弊社手配手数料(宿泊費用・その他手配費用に該当する手数料)・クレジットカード決済手数料 	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎市までの交通費(飛行機・JRなど) 旅程に記載のないお食事・お飲み物代金 自由散策時・フリータイムの交通費・入場料など その他、お土産など個人的な費用 旅程に記載のない服務に関する費用

※ 全行程を通して、スルーガイドはつきません。「自由散策・フリータイム」とある場所は各自でお楽しみください。

※ 弊社スタッフは現地移動と宿泊施設チェックインのお手伝いをいたします。

◎ キャンセル規定

お申込み時~ツアー開始31日前	⇒	5%※
※キャンセルの場合はメールまたは電話にてお申し出ください。キャンセル料(カード決済手数料5%)を控除した金額をお客様のお支払いクレジットカードへ返金します。		
ツアー開始の30~15日前	⇒	50%
ツアー開始の14~8日前	⇒	80%
ツアー開始の7日前より	⇒	100%

◎ 催行人数： **限定5名様 (4名様から催行)**

※ 後半日程はご希望者数に応じバスサイズを変更、最大10名様まで可能

◎ 旅行形態： **手配旅行(宿泊を含む場合)**



↑青島・鬼の洗濯岩

↓パワースポット・東霧島神社

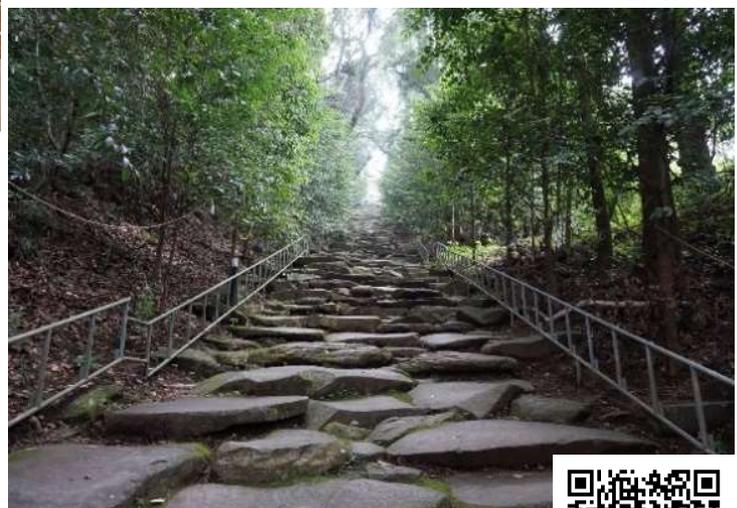
雲海ワイン→



旬のフルーツたち♡

←宮崎マンゴー

日向夏↓



◎ お申込・お問合せ:

(株)アイ・ティ・エス/アイ・トラベル・スクエア

website: https://i-travel-square.tokyo/shinwa_miyazaki →

email: info@i-travel-square.tokyo tel: 03-6706-4700

